

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

子育て支援課

補助金等の名称	佐倉市民間保育園等施設整備費補助金						
予算科目	一般会計	款	3	項	3	目	4
予算事業名	民間保育園等施設整備助成事業						
実施計画の位置づけ	保育サービスの充実を図ります						
補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし					571,775 千円	
交付先	社会福祉法人等で国実施要綱等に定める事業者						
支出根拠規定	佐倉市民間保育園等施設整備費補助金交付要綱						
補助の目的	民間保育園等の施設整備に要する経費の一部に対し助成することで、待機児童を解消し、子どもを安心して育てることができる体制整備を図る。						
補助の効果	認可保育園等の定員増						
補助対象事業の 具体的内容	国・県の補助金交付要綱の規定に基づく、待機児童解消のための保育園等の新設等						
対象経費及び補助率	【対象経費】 国・県の補助金交付要綱の規定による。 【補助率】 国・県の補助金交付要綱の規定による。						
補助金額の根拠	国・県の補助金交付要綱の規定による。						
備考	1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 その他						
補助期間	平成27年 4月 1日～令和2年 3月31日						

本補助金は、国・県の補助金交付要綱の規定による事業で、補助率は要領及び要綱で規定されているため。

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	子育て支援課	
補助金等の名称		佐倉市民間保育園等施設整備費補助金		
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	157,836	民間保育園1園の整備により 定員30人増	165,772	公立保育園の民営化により、 定員120人(30人増)の認可 保育園が開園したことにより、 待機児童対策の一助となっ た。
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	喫緊の課題である待機児童問題に対し、認可保育園の定員数の増は最も効果的である。引 き続き、国・県の制度を活用した民間保育園施設整備助成事業を実施する。			
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
		未定	339,183	民間保育園3園に対して施設 整備補助を実施し、保育定員 の拡大(223人増)を図ること によって、待機児童対策の一 助となった。
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	喫緊の課題である待機児童問題に対し、認可保育園の定員数の増は最も効果的である。今 後も保育ニーズの推移を踏まえながら必要に応じて整備補助を実施する。			
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
		未定	267,097	民間保育園等2園に対して施 設整備補助を実施し、保育定 員の拡大(86人増)を図ること によって、待機児童対策の一 助となった。
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	待機児童の解消の解消のために受け皿の拡大を図ることができた。今後も保育ニーズの推 移を踏まえながら必要に応じて整備補助を実施する。			
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	0	—	0	
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	工事期間が2か年にわたる施設整備を実施している。保育の受け皿の拡大を図るため、今 後も保育ニーズの推移を見ながら必要に応じて整備補助を実施する。			
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	0	—	733,131 (うち、473,211千 円は平成30年度 からの繰越分)	認定こども園や小規模保育事業 所の施設整備に対する補助を実 施し、保育定員の拡大(205人 増)を図ると共に、防犯対策事業 を実施した。
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	保育定員の拡大を行うも、待機児童の解消には至らなかった。今後の保育ニーズの推移に より施設整備を検討する必要がある。			
計画期間終了後の 最終的な目標値		補助対象施設全てに交付する。		
計画期間終了後の 最終的な成果値		保育所4園、認定こども園3園、小規模保育事業所1か所の施設整備に対する補助を実施 し、544人の保育定員の拡大を図った。		